

狛江の放射能を測る会について

18年4月13日

私たち「狛江の放射能を測る会」は、原発に依存しない社会の可能性を探るために、定期、定点観測など狛江市内で放射能測定をしながら、原発や放射能被害の学習を中心に活動をしています。

中央公民館第33回「つどい」(3/7~11)企画

展示とおはなし喫茶を終えて

1. 展示

期間中、地下ロビーで①狛江市内での42カ所放射能測定と市で実施している学校・保育園等の公開測定結果(測る会も測定。その測定値)、NHKプロデューサーを呼んでの「赤宇木」講演会やミニ学習会の紹介 ②昨年4月の福島いわき市での被災者・支援者との交流と、被災地での現地調査 ③福島第一原発の現状と被災者の現状調査(主に新聞・東電・自治体・調査機関情報)等、私たちの活動と学習、調査結果を発表しました。

来場者合計95名で、昨年と同様に来場者数としては多くありませんでした。しかし、熱心に見られる方が多く、当時報道機関にいて震災直後に現地入りして息をのんだことを忘れられない、実家は浪江町請戸で親せきが流された、実家は南相馬、津波は直前で止まってくれたが地震で壊れた、弟が大成建設で飯舘村の除染に従事し被ばくを心配している等、切実なお話を聞かせていただきました。また、電気は余っているのになぜ再稼働するのか分からない、見れば見るほど、政府の棄民政策を感じる、怒りを感じるなど、再稼働や避難者・被害者に対する強い関心を示していました。

市内測定をしている会の活動は少しずつ知られるようになってきており、原発のない社会を目指す勉強会として多少は期待されていると感じました。



展示会場風景

2. おはなし喫茶(3/9 17:15~19:30)

3月9日(金)午後5時~7時半まで、地下ロビーで開店しました。2015年以来、4回目となります。開店したのは、「放射能を測る会」を立ち上げたときにその活動を市民に知って欲しいと思いましたが機会が無く、それなら自分たちでつくろうと考えたためです。

来店者はお話しされる方を含め85名で、昨年より30名ほど増えました。

おはなしの内容は○視覚障がい者の現状と市民に期待すること(狛江視覚障害者の会 並木ヒロ子さん) ○朝鮮半島逃避行(岩瀬瑞穂さん) ○公民館と人形劇活動(人形劇団ポップ 田村泉さん)。それに恒例の○大熊啓さんのLGBTなどマイノリティーへの差別問題のトークに「いのち」の歌、狛江ぞうれっしゃ合唱団による原発事故による避難者の思いを詠った「風よふるさとよ」 ○ピーストレインさんの朗読 with 映像「だれのこどももころさせない」です。

新しい方々にお話しをしていただいたことや、喫茶後の「公民館の可能性」に参加される方も来店されて、新しい方が増えたように思います。DVD音声の不備など問題もありましたが、全体としては好評でアンケートでは全員が「来年も続けて欲しい」との希望が出されています。



おはなし喫茶風景

今年も福島に行ってきました

4月2日(月)～4日(水)に福島原発事故の調査に行ってきました。4月2日、いわき市民訴訟原告団長の伊東達也さんに原発事故による一層厳しさを増している避難者・被害者の現状などのお話を伺いました。また、「いわき市民放射能測定室たらちね」で、昨年開設した「たらちねクリニック」の診察室・相談室を案内してもらい、その活動をクリニックマネジャーの松永美由紀さんに伺いました。

翌日にはザ・ピープル(古着のリサイクルボランティア団体。震災後は積極的な被災者支援に動く)の吉田恵美子さんから復興支援のためのコットン栽培といわき市で全国コットンサミットの開催にこぎつけたこと、新たにいわき市に人材を戻すためのいわきアカデミアを、緊急事態に対応できるフードバンクを立ちあげたことを聞きました。

その後、いわき市の海岸から広野町、一昨年避難指示解除された楢葉町に測定しながら行き、寶鏡寺住職で「ふるさとを返せ避難者訴訟」原告団長の早川篤生さんに会いました。3月22日の福島地裁いわき支部の判決に対する怒りを抑えきれないように、40年の間、原発の危険性を指摘し続け、対策の必要を求めてきたにもかかわらず一顧だにできなかった東電の姿勢を「起こるべくして起きた事故」と厳しく批判されました。

その後、フレコンバックの搬送などの必要性から開通させた6号線、今年開通した114号線(浪江町～屋曾根～赤宇木～津島)を通過して川俣町山木屋に行きました。

4日は福島飯坂温泉から399号線を南下、飯舘村に行き村内の測定とあわせて、総務課企画係長に、農業復興を第一の柱とする復興計画を聞きました。

私たちの「見て、聞いて、測って」の福島調査は下記の通り発表します。ぜひ、ご参加ください。

5月29日(火)

中央公民館第3会議室 午後7時～ ミニ学習会

6月16日(土)～6月30日(土)

中央公民館2F ショーケース 展示



3.11にいわき市久之浜で灯したコットンランプシェード



700年続く寶鏡寺本堂(楢葉町)帰還者は実質10%ほど。引継ぐ準備ができていたが、断念する。



飯舘村のひもろぎの里。今はフレコンバック置き場になっている。飯舘村だけで230万体系ある。

私たちは、国と東電が事故被害者の生活再建を切り捨て、廃炉作業の見通しも立てられない中で、玄海原発の再稼働に反対します。